

お茶の間学Ⅱ

生活特報部 FAX 092 (711) 9056 メール seikatsu@nishinippon-np.jp

もり 森林をつくらう

脊振の地から

4

佐藤和歌子

夢を植える植樹活動

「私たちの植樹は、参加者が山とのつながりを探しに、自ら夢を植えて来ってもらう活動にしよう。いつかどれくらい育ったかなって見に来てもらえるよう

に」。そう妹と話し、参加者にできる限り苗木の成長をお知らせして、真夏の炎天下で行う下草刈りなどの管理は「山の人の誇り」と思い、法人スタッフ

で毎年、元気に
行っています。

次世代を育成

する活動のヒントになったのは、司法試験の受験を諦め、NPOを設立して環境保全活動に取り組みことを報告しに行った私に、大学の恩師が投げかけた一言でした。

「今の子は自分で見て体を動かして、手で触れたい」といって体験が少ない気が

でも、植樹や体験活動などの必要性は認めても、それが即、国産木材の利用率につながるわけはありません。ヒントを求め、製材所や木材市場を訪ねるうちに、あっと驚く事実を知りました。

(NPO法人「森林をつくらう」理事長、佐賀県神埼市)

2005年2月、NPO法人「森林をつくらう」を設立しました。

「費用の心配はいらない。今の山を取り巻く情報発信に何が足りないのか、所有者が夢を持ち、都会の人が楽しみに足を運んでくれる山にするために何ができるか、一生懸命考えなさい」。父からはそう言われ、妹と2人で考えましたが、すごく悩みました。

他団体の植樹活動に参加してみました。でも、都市住民が山の手入れがなされていない状況を見かねて手助けするような活動に、違和感を覚えました。



初めての植樹イベントは大いに盛り上がった